

The Kita Osaka Shinkin Bank

北おおさか信用金庫

景況レポート

2016年4~6月期 **No.10**

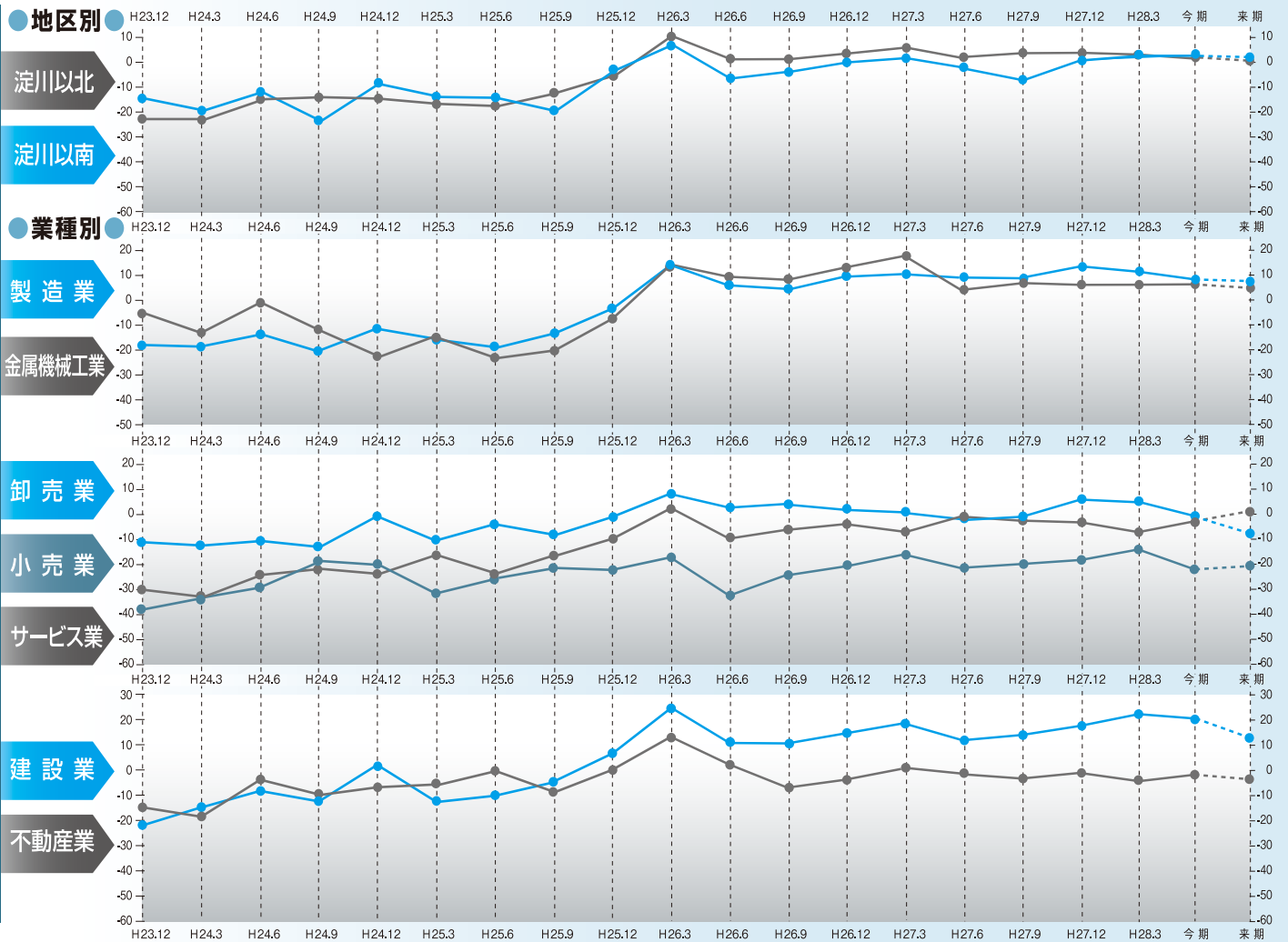
Business Condition Report



この街の未来をひらく

北おおさか信用金庫

地区別・業種別 業況判断D-Iの推移



INDEX

地区別・業種別 業況判断DI 来期予想までの推移・目次	1
調査概要	2
全業種総合	3・4
製造業	5
金属機械工業	6
卸売業	7
小売業	8
サービス業	9
建設業	10
不動産業	11
特別調査「平成28年・春の採用とベースアップ」について	12・13・14

〈調査概要〉 調査対象……………地元企業1,200社(有効回答1,200社)
 調査時期……………平成28年6月
 調査対象期間…平成28年4月～6月期 当期の実績 (28年1月～3月期との比較)
 平成28年7月～9月期 来期の見通し(28年4月～6月期との比較)
 調査方法……………当金庫職員による調査表に基づく聞き取り調査
 分析方法……………DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

●DIとは

各調査項目について「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽・容易」の回答割合から、「悪い」「減少」「低下」「不足」「苦しい・難しい」の回答割合を差引いた数値です(普通、変わらず、適正は除外しております)。

(例) 良い10%、やや良い20%、普通30%、やや悪い15%、悪い25%の場合

①良い = 良い10% + やや良い20% = 30%

②悪い = 悪い25% + やや悪い15% = 40%

DI = ① - ② = ▲10

●調査内容と注意点

- (1) 売上額、収益、受注残高、販売・仕入価格、在庫、資金繰り、残業時間は前期と比べた当期の状況(来期見通しは当期と比べた来期予想)です。
- (2) 業況、人手、借入の難易度は、前期比ではなく、その時点での状況です。

●各判断DIが示す内容

	(プラス)	(マイナス)
業況	現状「良い」	現状「悪い」
売上額・収益	前期比「増加」	前期比「減少」
受注残高・残業時間	前期比「増加」	前期比「減少」
販売価格・仕入価格	前期比「価格上昇」	前期比「価格下降」
(原材料)在庫	前期比「過剰」	前期比「不足」
資金繰り	前期比「楽」	前期比「苦しい」
人手	現状「過剰」	現状「不足」
借入の難易度	現状「容易」	現状「難しい」

※DIプラスが良いとは限りません(例:仕入価格判断DIプラスは前期比価格上昇)

■対象企業の業種・従業員別構成

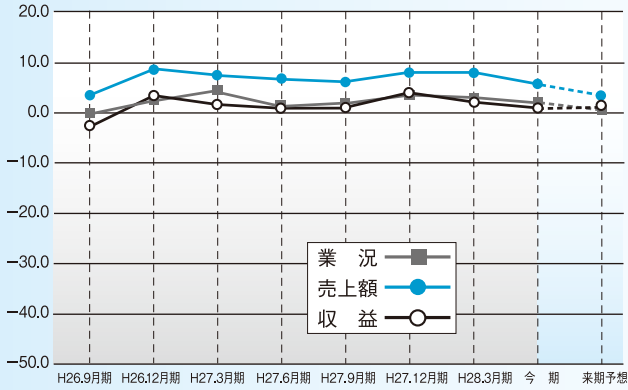
	4名以下	5～9名	10～19名	20～29名	30～49名	50～99名	100名以上	合計(構成比)	
製造業	37	42	56	20	25	10	10	200	16.7%
金属機械工業	40	56	48	27	16	6	7	200	16.7%
卸売業	34	34	25	13	6	6	2	120	10.0%
小売業	80	24	22	7	4	7	6	150	12.5%
サービス業	58	40	30	16	23	19	14	200	16.7%
建設業	44	65	62	15	6	6	2	200	16.7%
不動産業	85	32	9	2	1	—	1	130	10.8%
合計	378	293	252	100	81	54	42	1,200	100.0%
(構成比)	31.5%	24.4%	21.0%	8.3%	6.8%	4.5%	3.5%	100.0%	—

*製造業の構成比が他5業種と比較して大きいため、製造業のうち金属機械工業を1業種として分割しております。

●調査地域

淀川以北:島本町、高槻市、茨木市、吹田市、摂津市、豊中市、箕面市、池田市、伊丹市、尼崎市、東淀川区、淀川区、西淀川区 他 淀川以北
 淀川以南:寝屋川市、門真市、守口市、北区、西区、中央区、城東区、旭区、住吉区、此花区、福島区 他 淀川以南

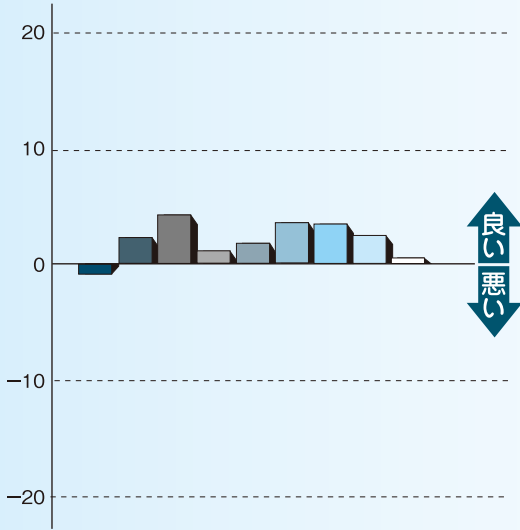
業況・売上額・収益



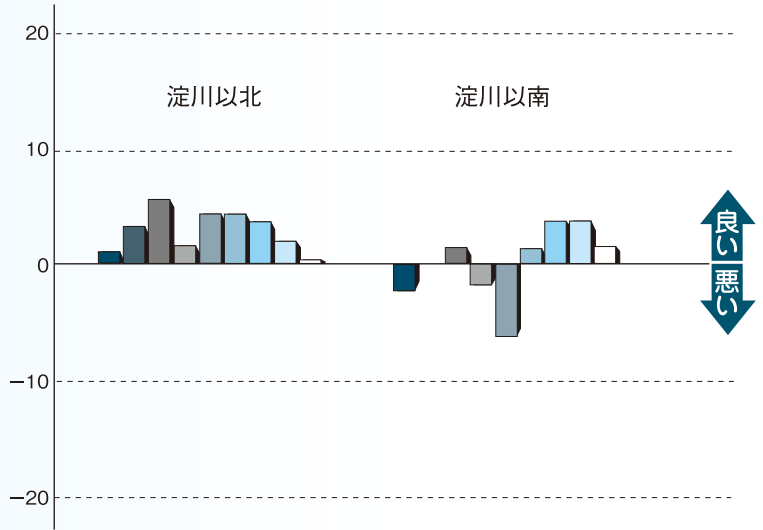
全業種総合 DI値の推移

	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	今期	来期予想
業況	-0.4	2.5	4.7	1.0	1.7	3.7	3.6	2.4	0.8
売上額	3.6	8.6	7.6	6.6	5.5	7.7	7.7	5.2	3.9
受注残	10.0	16.1	20.6	10.7	15.7	15.4	14.0	13.0	10.2
施工高	6.9	16.5	15.5	8.5	14.0	17.0	17.0	17.0	12.5
収益	-2.7	3.4	1.5	0.7	0.7	4.2	2.4	1.6	1.0
販売価格	5.4	3.4	2.9	3.1	0.8	0.3	1.5	0.6	0.2
原材料・仕入価格	25.3	23.7	20.4	22.2	15.2	11.3	8.6	8.7	7.3
在庫	-2.5	-2.1	0.0	-1.6	-2.4	-1.8	-1.8	-1.2	-1.5
資金繰り	-6.0	-5.8	-7.6	-2.2	-6.3	-4.6	-4.7	-4.0	-4.6
従業員残業時間	5.6	6.7	7.3	4.5	6.4	7.0	6.2	4.7	4.1
従業員人手	-11.5	-13.5	-13.5	-13.6	-14.3	-12.3	-14.2	-12.2	-12.1
設備状況	-6.5	-6.4	-8.5	-6.6	-6.5	-5.1	-7.1	-6.2	-5.1

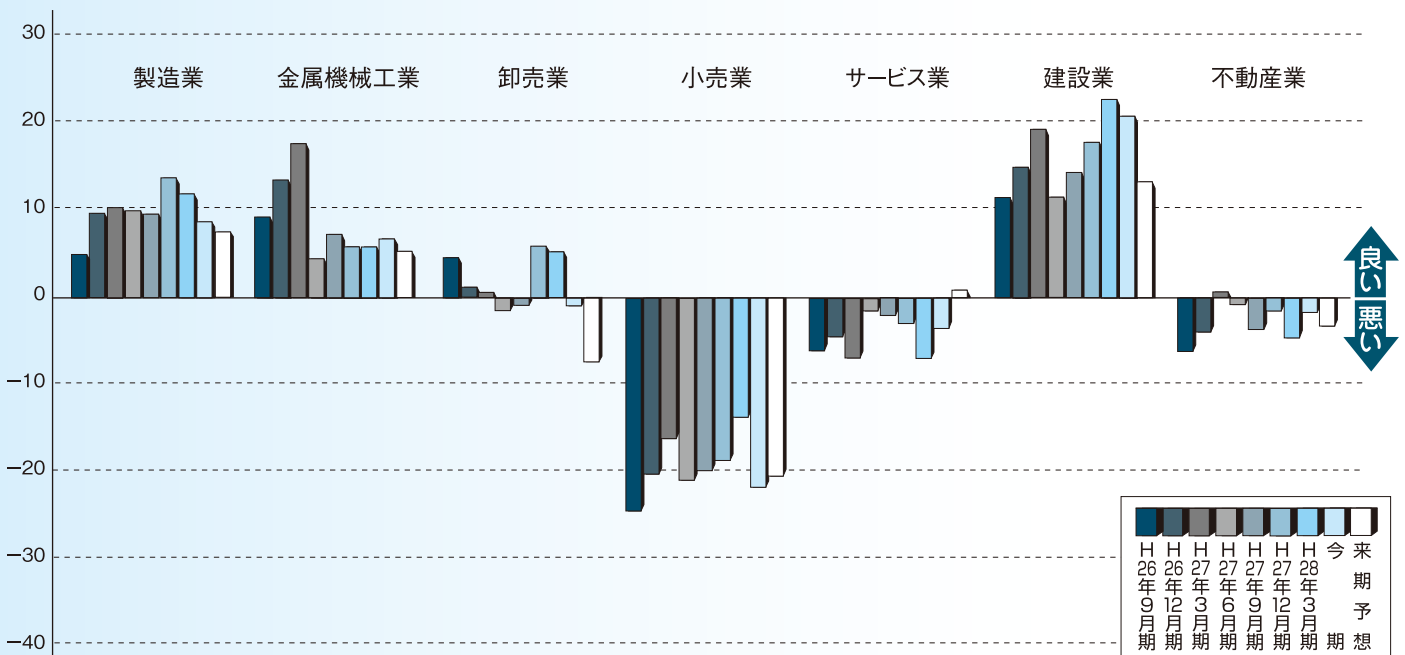
全体業況判断DI



地区別業況判断DI



業種別業況判断DI



業況について

～2016年4月～6月期、全業種総合の業況はほぼ横ばい(=4四半期連続)～

2016年4月～6月期、全業種の業況判断DIは(前期3.6→)2.4(前期比1.2ポイント減)となり、ほぼ横ばいでの推移となった。

来期予想は、業況判断DIは0.8となり、引き続き横ばいで推移するとの見通しとなった。

～業種別では「建設業」の業況は高止まり～

業種別にみると、「建設業」20.5(前期比2.0ポイント減)、「製造業」8.5(前期比3.0ポイント減)、「金属機械工業」6.5(前期比1.0ポイント増)、「卸売業」▲0.8(前期比5.8ポイント減)、「不動産業」▲1.6(前期比3.1ポイント増)、「サービス業」▲3.5(前期比3.5ポイント増)、「小売業」▲22.0(前期比8.0ポイント減)となった。特に「小売業」、「卸売業」で悪化が見られた。「サービス業」、「不動産業」は小幅改善、その他は横ばい～ほぼ横ばいとなった。

～淀川以北、以南とも業況感は横ばいで推移～

地域別にみると、業況判断DIは淀川以北地域2.0(前期比1.7ポイント減)となり、ほぼ横ばいでの推移となった。また淀川以南地域も3.7(前期比増減なし)で横ばいとなった。

来期予想は、業況判断DIは淀川以北地域(0.5)、以南地域(1.5)いずれも横ばいで推移の見通しとなった。

売上額・収益の動き

～売上額は横ばい(=6四半期連続)、収益も横ばいで推移～

全業種の売上額判断DIは(前期7.7→)5.2(前期比2.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいでの推移となった。業種別で、悪化が見られたのは「製造業」14.0(前期比6.0ポイント減)、小幅悪化は「不動産業」3.8(前期比3.8ポイント減)、「卸売業」0.0(前期比3.4ポイント減)で、その他は横ばい～ほぼ横ばいの推移となった。

全業種の収益判断DIは(前期2.4→)1.6(前期比0.8ポイント減)となり、横ばいとなった。

5業種がほぼ横ばいでの推移となったが、「小売業」は▲18.7(前期比6.7ポイント減)で業況判断同様に、また「不動産業」は▲3.8(前期比5.3ポイント減)と悪化となった。

来期予想は、売上額判断DIは3.9となり、ほぼ横ばい、また収益判断DIは1.0となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

販売価格・原材料・仕入価格の動き

～販売価格は横ばい(=9四半期連続)、原材料・仕入価格も横ばいで推移～

全業種の販売価格判断DIは(前期1.5→)0.6(前期比0.9ポイント減)となり、横ばいで推移となった。業種別で、「不動産業」(0.8)が前期比3.9ポイント減少となり、小幅に悪化が見られた他は横ばい～ほぼ横ばいとなった。

原材料・仕入価格判断DIは(前期8.6→)8.7(前期比0.1ポイント増)となり、横ばいで推移となった。

来期予想は、販売価格判断DIは0.2となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。また原材料・仕入価格判断DIは7.3となり、ほぼ横ばいで推移する見通しとなった。

資金繰り・雇用面の動き

～資金繰り、人手不足感とも横ばいで推移～

全業種の資金繰り判断DIは(前期▲4.7→)▲4.0(前期比0.7ポイント増)となり、横ばいで推移となった。

人手判断DIは(前期▲14.2→)▲12.2(前期比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいで推移となった。

人手判断DIは、改善が見られたのは改善幅順に「サービス業」で前期比5.0ポイント改善し▲18.5、「製造業」で前期4.5ポイント改善し▲10.0、「建設業」で4.5ポイント改善し▲19.0となった。その他「不動産業」▲3.1(前期比1.6ポイント減)、「小売業」▲6.7(前期比1.3ポイント増)、「卸売業」▲8.4(前期比2.6ポイント減)、「金属機械工業」▲13.5(前期比増減なし)で横ばい～ほぼ横ばいでの推移だったが、特に「建設業」、「サービス業」の不足感は慢性的に高い。

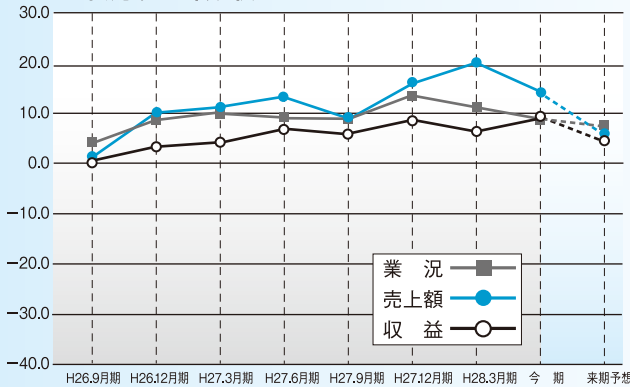
経営上の問題点

	1位		2位		3位		4位		5位	
製造業	同業者間の競争の激化	49.0%	売上の停滞・減少	34.0%	利幅の縮小	28.0%	人手不足	19.0%	原材料・料金価格高	15.0%
金属機械工業	同業者間の競争の激化	51.5%	売上の停滞・減少	33.0%	利幅の縮小	28.5%	工場・狭小、機械の老朽化	16.5%	人手不足	14.5%
卸売業	同業者間の競争の激化	55.0%	売上の停滞・減少	32.5%	利幅の縮小	31.7%	輸入品との競争の激化	11.7%	仕入れ先からの料金値上げ要請	10.8%
小売業	売上の停滞・減少	52.7%	同業者間の競争の激化	38.7%	大型店との競争激化	37.3%	利幅の縮小	20.0%	商店街の集客力の低下	16.7%
サービス業	同業者間の競争の激化	56.0%	売上の停滞・減少	26.5%	人手不足	22.5%	利幅の縮小	20.5%	人件費の増加	13.5%
建設業	同業者間の競争の激化	57.0%	人手不足	30.5%	利幅の縮小	26.5%	売上の停滞・減少	23.5%	下請けの確保難	21.0%
不動産業	商品物件の不足	56.9%	同業者間の競争の激化	48.5%	利幅の縮小	35.4%	商品物件の高騰	24.6%	売上の停滞・減少	23.1%

当面の重点経営施策

	1位		2位		3位		4位		5位	
製造業	販路を広げる	72.0%	経費を節減	51.5%	情報力を強化	26.5%	新製品・技術を開発	25.5%	人材確保	18.0%
金属機械工業	販路を広げる	58.5%	経費を節減	52.0%	情報力を強化	26.5%	人材確保	22.5%	教育訓練を強化	18.0%
卸売業	販路を広げる	75.0%	経費を節減	50.0%	情報力を強化	30.0%	品揃えを充実	23.3%	提携先を見つける	16.7%
小売業	経費を節減	62.7%	宣伝・広告を強化	40.7%	品揃えを充実	39.3%	売れ筋商品を取扱う	28.0%	商店街事業を活性化	16.7%
サービス業	経費を節減	51.5%	販路を広げる	48.0%	宣伝・広告を強化	30.5%	人材確保	26.5%	教育訓練を強化	15.5%
建設業	経費を節減	58.0%	販路を広げる	53.0%	人材確保	37.0%	技術力を強化	31.5%	情報力を強化	26.5%
不動産業	情報力を強化	69.2%	販路を広げる	46.9%	宣伝・広告を強化	42.3%	経費を節減	33.1%	不動産の有効活用	11.5%

業況・売上額・収益



製造業 DI値の推移

	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	今期	来期予想
業況	4.5	8.5	10.0	9.5	9.0	13.5	11.5	8.5	7.5
売上額	1.5	10.0	11.0	13.0	9.0	16.5	20.0	14.0	5.5
受注残	5.5	13.0	16.0	13.0	10.5	16.0	16.0	13.5	6.5
収益	0.5	3.5	4.0	7.0	6.0	8.5	7.0	9.0	4.5
販売価格	2.0	1.0	2.0	2.5	1.5	-1.0	0.5	1.5	3.0
原材料価格	29.0	30.0	24.5	26.0	16.0	12.0	12.0	9.0	6.0
在庫	-1.0	2.0	4.5	1.0	1.0	0.5	-0.5	2.5	1.0
資金繰り	-3.5	-7.0	-7.0	-2.0	-5.5	-0.5	-5.0	-3.0	-4.5
従業員残業時間	4.5	12.5	6.5	5.0	6.0	9.0	7.5	7.0	6.5
従業員人手	-9.0	-10.0	-5.5	-13.0	-12.5	-8.5	-14.5	-10.0	-10.0
設備状況	-9.0	-6.0	-9.5	-10.0	-8.0	-6.0	-10.5	-9.0	-8.5

業況について

～2016年4月～6月期、業況はほぼ横ばい～

2016年4月～6月期、製造業の業況判断DIは(前期11.5→)8.5(前期比3.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。最多納入先別で業況判断DIを見ると、好調だった「問屋・商社向け」が4.0で前期比16.0ポイント減少となり、かなり大幅に悪化となった。また「大メーカー向け」は27.1で前期比6.2ポイント減少、「小売・最終需要家向け」も5.0と前期比5.5ポイント減少で悪化となった。来期予想は、業況判断DIは7.5となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	200	25	48	107	20
良い～悪い	17	1	13	2	1
DI	8.5	4.0	27.1	1.9	5.0

売上額・収益・受注残の動き

～売上額は悪化に転じる、収益、受注はほぼ横ばい～

売上額判断DIは(前期20.0→)14.0(前期比6.0ポイント減)となり、悪化となった。収益判断DIは(前期7.0→)9.0(前期比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいでの推移となった。受注残判断DIは(前期16.0→)13.5(前期比2.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移となった。来期予想は、売上額判断DIは5.5となり、今期実績比8.5ポイント低下し2期連続で、また受注残判断DIも6.5となり、今期実績比7.0ポイント低下でいずれも悪化の見通しとなった。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格、原材料価格ともに横ばい～

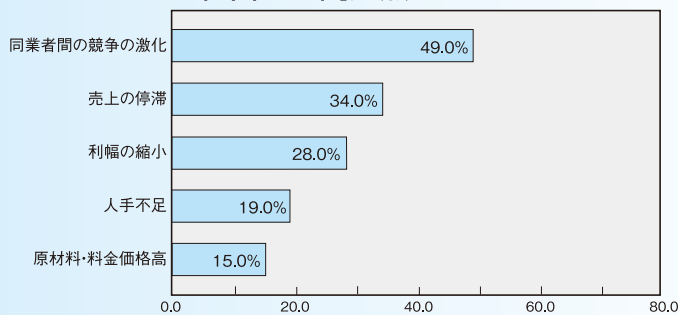
販売価格判断DIは(前期0.5→)1.5(前期比1.0ポイント増)となり、横ばいでの推移となった。販売価格は2年前の消費税増(5%→8%)以来ほぼ同水準での推移を示している。原材料価格判断DIは(前期12.0→)9.0(前期比3.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。ただ原材料価格判断DIは前年同期(26.0)比では17.0ポイントの改善をしている。来期予想は、販売価格判断DIは3.0となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。また原材料価格判断DIは6.0となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。

資金繰り・雇用面の動き

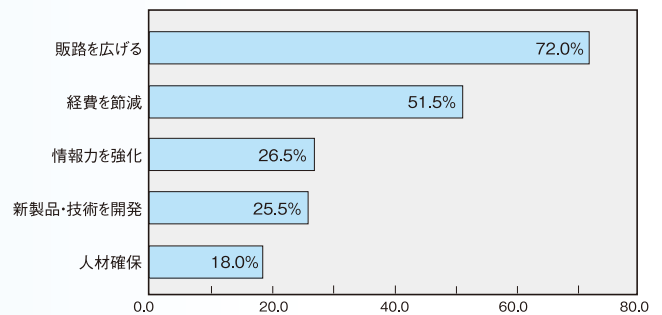
～資金繰りはほぼ横ばい、人手不足感は小幅に弱まる～

資金繰り判断DIは(前期▲5.0→)▲3.0(前期比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいでの推移となった。人手判断DIは(前期▲14.5→)▲10.0(前期比4.5ポイント増)となり、小幅に改善となった。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業は(前期0.5%→)2.5%、適正とした企業は(前期84.5%→)85.0%、不足とした企業は(前期15.0%→)12.5%。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

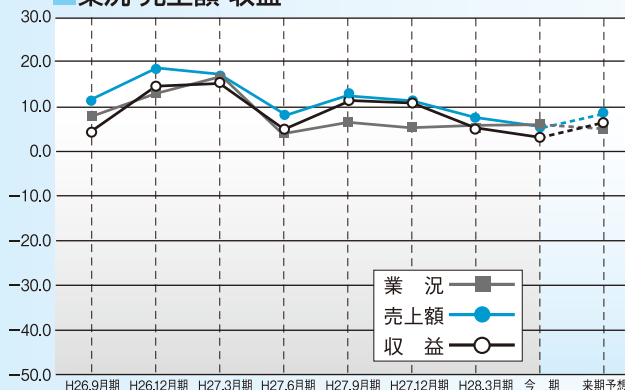


企業のコメント



- ・ 主要取引先の業績好調に引っ張られ、売上、利益は大幅に増加、受注も確保、オファーもよくあり来期も好調を維持できる。(製造ライン機械製造業)
- ・ 売上、受注、収益いずれも増加、生産ラインに新機械を導入が更に業績アップにつながると見ている。(酒類製造業)
- ・ 大手メーカー向けを中心に業況は良い、売上、収益とも増加傾向にあり来期も続くと見ている。(電子機器製造業)
- ・ 取引先は国内の中小メーカー等だが、同業他社との価格競争から売上、収益はわずかに減少しており、改善は厳しい。(印刷業)
- ・ 他社のSPAに対し、自社の競争力は弱く業況はあまり良くない。売上、収益、受注とも減り回復は期待できない。(婦人服製造業)
- ・ 取引先メーカーの選別強化が見られ、自社の競争力を強める努力をしないと業況は厳しい。(自動車部品製造業)

業況・売上額・収益



金属機械工業 DI値の推移

	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	今期	来期予想
業況	8.0	13.0	17.5	4.0	7.0	5.5	5.5	6.5	5.0
売上額	11.5	18.5	17.5	8.0	13.5	11.5	7.0	6.0	8.5
受注残	13.5	16.0	20.5	8.0	17.5	12.0	8.5	7.0	9.5
収益	4.0	15.0	15.5	5.0	11.5	11.0	5.0	3.0	6.5
販売価格	1.0	-0.5	2.0	0.5	1.5	-1.5	-1.5	-1.0	-0.5
原材料価格	21.0	19.0	22.5	21.5	12.0	7.5	5.5	3.5	4.5
在庫	-1.5	0.0	3.5	0.5	-1.5	2.0	1.0	0.5	1.0
資金繰り	-3.5	-0.5	-4.0	2.5	-2.0	0.0	1.0	0.5	0.0
従業員残業時間	10.5	9.0	21.0	9.5	15.0	12.5	10.5	7.0	4.5
従業員人手	-13.0	-18.0	-20.5	-17.5	-20.5	-15.0	-13.5	-13.5	-12.5
設備状況	-11.5	-11.5	-14.5	-8.5	-10.5	-7.0	-9.5	-8.0	-6.0

業況について

～2016年4月～6月期、業況は横ばい、来期も横ばいの見通し～

2016年4月～6月期、金属機械工業の業況判断DIは(前期5.5→)6.5(前期比1.0ポイント増)となり、横ばいで推移となった。

最多納入先別業況判断DIを見ると、かなり大幅な改善が見られた「小売・最終需要向け」は28.6で前期比45.3ポイントの増加となった一方で、「中小メーカー向け」は4.5で前期比9.3ポイント減少、また「問屋・商社向け」は0.0で前期比6.3ポイント減少となり、製造業と同様の傾向が見られた。

来期予想は、業況判断DIは5.0となり、ほぼ横ばいで推移するとの見通しとなった。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要
全体	200	16	67	110	7
良い～悪い	13	0	6	5	2
DI	6.5	0.0	9.0	4.5	28.6

売上額・収益・受注の動き

～売上額、収益、受注残いずれも横ばい～

売上額判断DIは(前期7.0→)6.0(前期比1.0ポイント減)となり、横ばいとなった。収益判断DIは(前期5.0→)3.0(前期比2.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。受注残判断DIは(前期8.5→)7.0(前期比1.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。

来期予想は、売上額判断DIは8.5となり、ほぼ横ばいの見通しとなった。収益判断DIは6.5で今期実績比3.5ポイント上昇し小幅に改善の見通し、受注判断DIは9.5となり、ほぼ横ばいとの見通しとなった。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格、原材料価格とも横ばい～

販売価格判断DIは(前期▲1.5→)▲1.0(前期比0.5増)となり、横ばいとなった。販売価格判断DIは、2年半前の2013年12月期以来ほぼ同水準での推移となった。原材料価格判断DIは(前期5.5→)3.5(前期比2.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいでの推移となった。

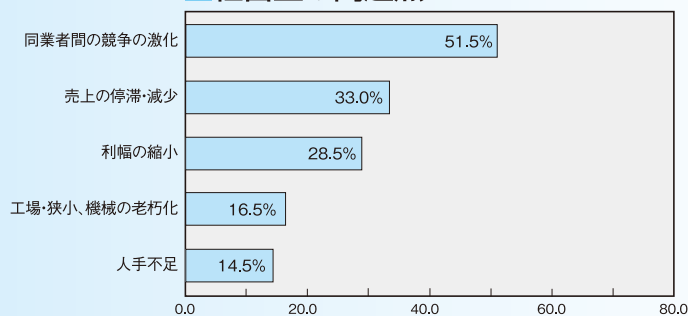
来期予想は、販売価格判断DIは▲0.5、原材料価格判断DIは4.5となり、いずれも横ばいで推移するとの見通しとなった。

資金繰り・雇用面の動き

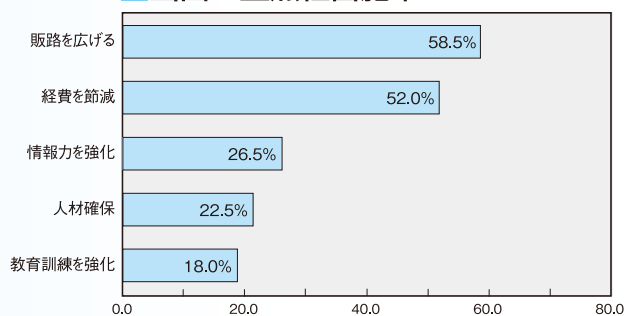
～資金繰り、人手不足ともに横ばい～

資金繰り判断DIは(前期1.0→)0.5(前期比0.5ポイント減)となり、横ばいとなった。人手判断DIは(前期▲13.5→)▲13.5(前期比増減なし)となり、横ばいとなった。人手判断DIの内訳は、人手過剰とした企業は(前期2.5%→)1.5%、適正とした企業は(前期81.5%→)83.5%、不足とした企業は(前期16.0%→)15.0%となった。

経営上の問題点

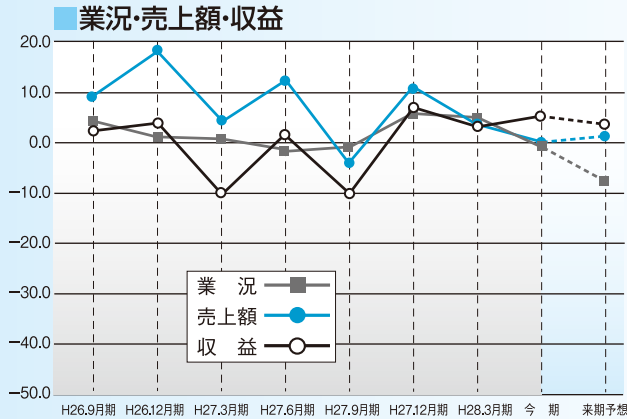


当面の重点経営施策



企業のコメント

- ・東北地方の復興需要、首都圏の建設ラッシュが業績アップにつながっている。今後は熊本地震からの復興需要が業績に影響すると見ている。(建設用基礎機械製造業)
- ・主力の大手メーカー向けが好調で売上、収益とも増加し、来期も更に増加が見込まれる。(産業用機械製造業)
- ・販売価格、原材料価格は変化なし。売上は伸びており業況はよい。(金属製品製造業)
- ・土木関連の売上、受注とも減少となり業況はやや厳しい。(製缶業)
- ・国内の問屋等からの受注、売上はとも減少にある。今後は東南アジアへの進出を検討している。(金属製品製造業)
- ・主力取引先の大メーカー向け売上が減少。来期の改善は今のところ望まれない。(ステンレス製品製造業)



卸売業 DI値の推移

	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	今期	来期予想
業況	4.2	1.6	0.8	-1.6	-0.8	5.8	5.0	-0.8	-7.5
売上額	9.2	18.3	4.2	12.5	-4.2	10.8	3.4	0.0	1.6
収益	2.5	4.1	-10.0	1.7	-10.0	6.7	3.4	5.8	3.3
販売価格	11.6	14.2	5.9	10.0	0.0	5.8	4.1	2.5	0.0
仕入価格	19.1	26.6	22.5	23.3	18.4	15.8	6.7	0.8	1.7
在庫	4.2	5.0	4.1	3.3	2.5	0.0	0.0	0.9	1.7
資金繰り	1.7	-1.7	-7.5	0.0	-5.0	-5.0	-6.6	-6.7	-11.8
従業員残業時間	0.9	0.8	1.6	2.5	5.0	0.8	2.5	3.4	5.8
従業員人手	-7.5	-7.5	-5.0	-1.7	-4.2	-2.5	-5.8	-8.4	-7.5
設備状況	-0.9	-2.5	-2.5	0.0	0.0	0.8	0.0	-0.9	-0.9

業況について

～2016年4月～6月期、業況は悪化、来期も改善見込まれず～

2016年4月～6月期、卸売業の業況判断DIは(前期5.0→)▲0.8(前期比5.8ポイント減)となり、悪化となった。最多納入先別に業況判断DIをみると、「大メーカー向け」は23.5となり、前期比5.9ポイント増加となり、プラス幅を拡大し改善となった一方で、かなり大幅な悪化が見られたのは「問屋・商社向け」の▲12.5で前期比21.2ポイントの減少となった。また「小売業者向け」も▲2.6で前期比7.6ポイント減少し悪化となった。来期予想は、業況判断DIは▲7.5となり、今期実績比6.7ポイント低下で、2期連続して悪化するとの見通しとなった。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売業者
全体	120	24	17	40	39
良い～悪い	-1	-3	4	-1	-1
DI	-0.8	-12.5	23.5	-2.5	-2.6

売上額・収益の動き

～売上額は小幅悪化、収益はほぼ横ばい～

売上額判断DIは(前期3.4→)0.0(前期比3.4ポイント減)となり、小幅に悪化となった。収益判断DIは(前期3.4→)5.8(前期比2.4ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。来期予想は、売上額判断DIは1.6、収益判断DIは3.3となり、いずれもほぼ横ばいの見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格はほぼ横ばい、仕入価格は改善～

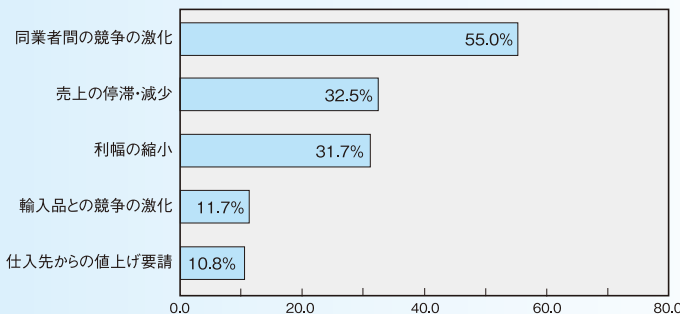
販売価格判断DIは(前期4.1→)2.5(前期比1.6ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移した。仕入価格判断DIは(前期6.7→)0.8(前期比5.9ポイント減)となり、改善となった。仕入価格は昨年6月期(23.3)比、22.5ポイントの改善がみられる。来期予想は、販売価格DIは0.0となり、ほぼ横ばいで推移するとの見通しとなった。仕入価格判断DIは1.7となり、横ばいで推移する見通し。

在庫・資金繰り・雇用面の動き

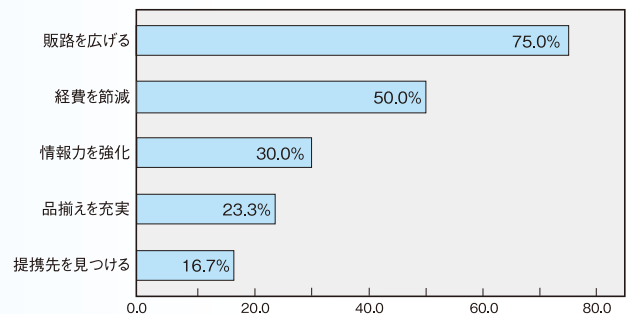
～在庫、資金繰り、人手不足は横ばい～

在庫判断DIは(前期0.0→)0.9(前期比0.9ポイント増)となり、横ばいで推移となった。資金繰り判断DIは、(前期▲6.6→)▲6.7(前期比0.1ポイント減)となり、横ばいとなった。人手判断DIは(前期▲5.8→)▲8.4(前期比2.6ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移となった。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業は(前期1.7%→)0.8%、適正とした企業は(前期90.8%→)90.0%、不足とした企業は(前期7.5%→)9.2%となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

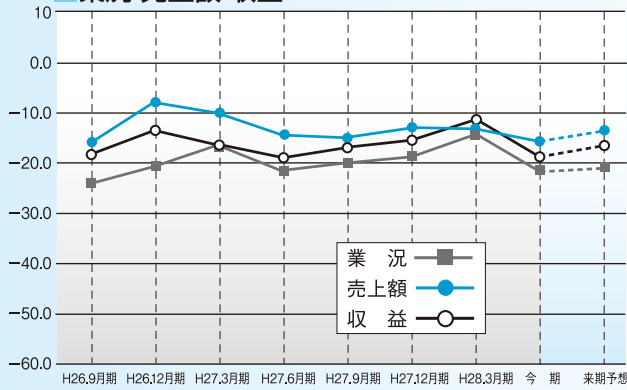


企業のコメント



- ・新しい取引先からの受注が売上、収益増加に貢献しており、来期も業績は好調を見込む。(電子部品卸売業)
- ・小売業者向け販売で、このところの入替需要からの受注増を期待している。(住宅設備機器販売業)
- ・建築関連エクステリア製品の販売は良好で売上を伸ばしている。(建築材料卸売業)
- ・好調に推移していたスポーツ部門の商品が2期連続で売上を減少させている。(その他卸売業)
- ・海外からの格安製品との競争が厳しく、売上、収益は減少している。(繊維品卸売業)
- ・売上、収益とも減少傾向になっているが、円高は収益にプラスになっている。(スポーツ用品・娯楽用品卸売業)

業況・売上額・収益



小売業 DI値の推移

	H26.9月期	H26.12月期	H27.3月期	H27.6月期	H27.9月期	H27.12月期	H28.3月期	今期	来期予想
業況	-24.6	-20.7	-16.7	-21.3	-20.0	-18.7	-14.0	-22.0	-20.7
売上額	-16.7	-8.0	-10.0	-14.0	-14.6	-12.7	-13.4	-15.4	-13.3
収益	-18.0	-13.3	-16.6	-18.7	-17.3	-15.3	-12.0	-18.7	-16.7
販売価格	8.7	2.7	0.7	0.0	-4.0	-1.4	3.3	4.0	3.3
仕入価格	22.0	14.0	16.0	18.0	14.7	11.3	9.3	12.6	11.3
在庫	0.7	-1.3	-1.3	-0.7	-0.6	3.3	2.7	2.7	4.0
資金繰り	-12.0	-14.0	-15.4	-16.0	-19.3	-17.3	-13.3	-11.3	-9.3
従業員残業時間	1.3	0.0	0.0	2.7	2.0	0.6	2.0	0.7	1.3
従業員人手	-6.0	-5.3	-8.0	-6.0	-6.0	-4.0	-8.0	-6.7	-9.4
設備状況	-3.3	-2.7	-4.7	-5.3	-4.6	-4.6	-3.4	-1.3	-1.3

業況について

～2016年4月～6月期、業況は悪化に転じる～

2016年4月～6月期、小売業の業況判断DIは(前期▲14.0)▲22.0(前期比8.0ポイント減)となり、悪化に転じた。「良い」とした企業の割合は10.0%(前期16.0%)、「適正」は58.0%(前期54.0%)、「悪い」は32.0%(前期30.0%)。

店舗立地地域別に業況判断DIをみると、全ての地域で悪化が見られ、特に駅周辺及び住宅隣接商店街の業況は慢性的な悪化となっている。「住宅隣接商店街」▲32.4(前期比11.2ポイント減)、「駅周辺商店街」▲24.6(前期比4.3ポイント減)、「その他」▲13.6(前期比10.2ポイント減)だった。

来期予想は、業況判断DIは▲20.7となり、ほぼ横ばいで改善はしないとの見通しとなった。

◎店の立地地域別業況について(当期)

	合計	駅周辺商店街	住宅隣接商店街	その他
全体	150	57	34	59
良い～悪い	-33	-14	-11	-8
DI	-22.0	-24.6	-32.4	-13.6

売上額・収益の動き

～売上額はほぼ横ばい、収益は悪化～

売上額判断DIは(前期▲13.4→)▲15.4(前期比2.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。なお、売上額判断DIがマイナスは小売業のみで4期連続で横ばいとなった。収益判断DIは(前期▲12.0→)▲18.7(前期比6.7ポイント減)となり、悪化となった。

来期予想は、売上額判断DIは▲13.3となり、ほぼ横ばいで推移するとの見通しとなった。収益判断DIは▲16.7となり、ほぼ横ばいで推移するとの見通しとなった。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は横ばい、仕入価格は小幅悪化～

販売価格判断DIは(前期3.3→)4.0(0.7ポイント増)となり、横ばいとなった。仕入価格判断DIは(前期9.3)12.6(3.3ポイント増)となり、小幅に悪化となった。来期予想は、販売価格判断DIは3.3となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。仕入価格判断DIは11.3となり、ほぼ横ばいで推移する見通しとなった。

資金繰り・雇用の動き

～資金繰り、人手ともにほぼ横ばい～

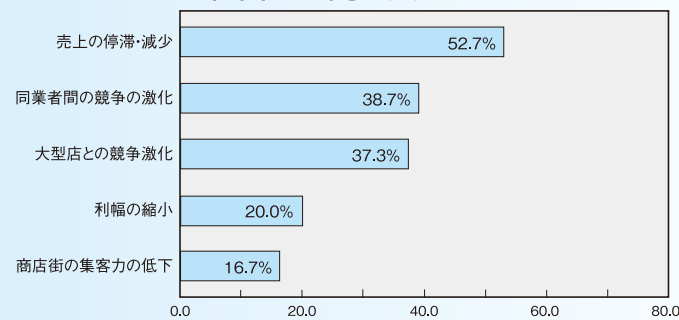
資金繰り判断DIは(前期▲13.3→)▲11.3(前期比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。

人手判断DIは(前期▲8.0→)▲6.7(前期比1.3ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。

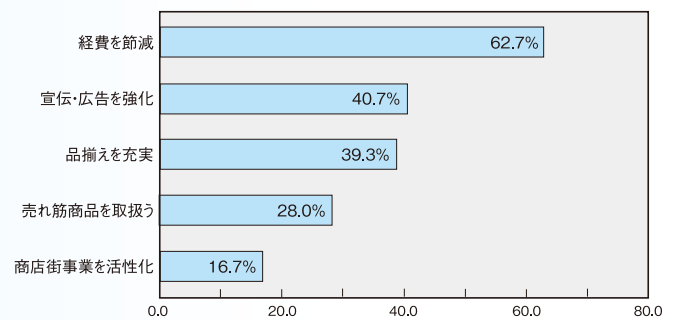
来期予想は、資金繰り判断DIは▲9.3、人手判断DIは▲9.4となり、ともに横ばいの見通しとなった。

人手判断の内訳は、人手過剰とした企業は(前期2.0%→)2.0%、適正とした企業は(前期88.0→)89.3%、不足とした企業は(前期10.0→)8.7%だった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

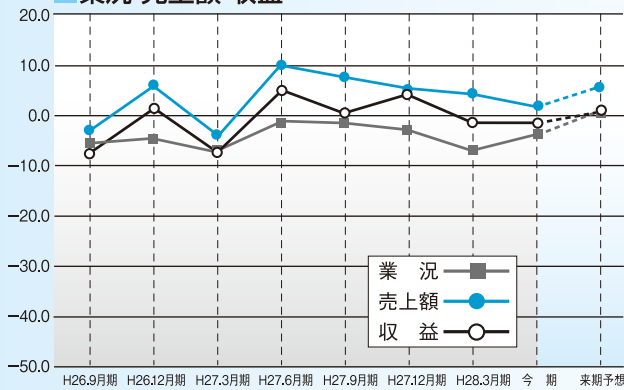


企業のコメント



- ・ 大阪市内の商業施設内の店舗は売上好調に推移した。来期も増加を見込んでいる。(飲食店)
- ・ 保育園等の工事受注が好調から売上はやや伸びているものの、仕入価格もやや上昇している。(木材・建築材料小売業)
- ・ 業況は良い、売上は増加しているが、仕入価格もやや上昇が見られる。(食品小売業)
- ・ 天候の変化が激しく、品揃えに向けた仮定がかなり難しく売上を下げた。(衣服・身のまわり品小売業)
- ・ 仕出し弁当の配達中心に営業しているが、取引先が企業から個人中心に変化している。(飲食店)
- ・ 大型店やインターネット販売との競争が激しく、売上を減少させている。(家電製品販売業)

■ 業況・売上額・収益



■ サービス業 DI値の推移

	H26.9月期	H26.12月期	H27.3月期	H27.6月期	H27.9月期	H27.12月期	H28.3月期	今期	来期予想
業況	-5.5	-4.0	-7.0	-1.5	-2.0	-3.0	-7.0	-3.5	1.0
売上額	-3.0	5.5	-4.0	10.0	7.5	5.0	4.5	2.0	6.0
収益	-8.0	1.0	-7.5	5.0	0.0	4.5	-1.0	-1.0	1.0
料金価格	8.5	4.0	1.0	5.0	6.5	1.5	1.0	-1.5	-1.5
材料価格	26.5	18.0	7.5	14.0	12.0	8.5	0.5	5.0	4.0
資金繰り	-11.5	-8.5	-10.0	-5.0	-9.5	-10.0	-7.0	-7.0	-6.5
従業員残業時間	5.5	10.5	6.5	6.0	8.5	11.5	4.5	6.5	7.0
従業員人手	-14.0	-18.5	-19.0	-22.5	-22.0	-19.5	-23.5	-18.5	-17.0
設備状況	-8.0	-7.0	-10.5	-9.0	-10.0	-7.5	-12.0	-9.5	-6.0

業況について

～2016年4月～6月期、業況は小幅改善、来期も小幅改善見通し～

2016年4月～6月期、サービス業の業況判断DIは(前期▲7.0→)▲3.5(前期比3.5ポイント増)となり、小幅に改善となった。
来期予想は、業況判断DIは1.0となり、今期実績比4.5ポイント上昇で小幅に改善するとの見通しとなった。

売上額・収益の動き

～売上額は収益とも横ばい、来期の売上額は小幅改善～

売上額判断DIは(前期4.5→)2.0(前期比2.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。収益判断DIは(前期▲1.0→)▲1.0(前期比増減なし)となり、横ばいとなった。
来期予想は、売上額判断DIは6.0となり、今期実績比4.0ポイント上昇で小幅に改善するとの見通しとなった。収益判断DIは1.0でほぼ横ばいとの見通し。

料金価格・材料価格の動き

～料金価格はほぼ横ばい、材料価格は悪化に転じる～

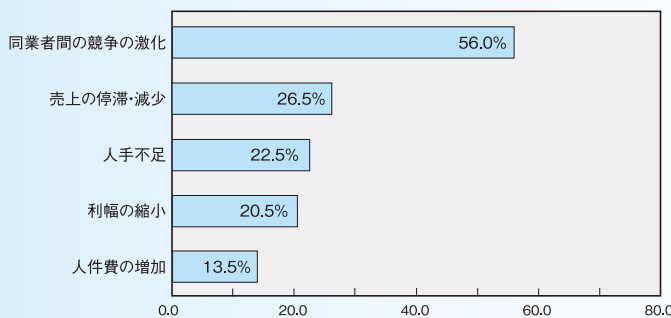
料金価格判断DIは(前期1.0→)▲1.5(前期比2.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。
材料価格判断DIは(前期0.5→)5.0(前期比4.5ポイント増)となり、小幅に悪化となった。
来期予想は、料金価格判断DIは▲1.5、材料価格判断DIは4.0となり、いずれも横ばいの見通しとなった。

資金繰り・雇用面の動き

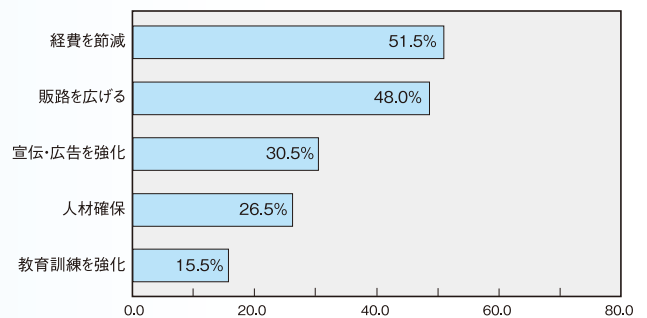
～資金繰りは横ばい、人手は小幅改善～

資金繰り判断DIは(前期▲7.0→)▲7.0(前期比増減なし)となり、横ばいとなった。
人手判断DIは(前期▲23.5→)▲18.5(前期比5.0ポイント増)となり、小幅に改善となった。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業は(前期0.5%→)0.5%、適正とした企業は(前期75.5%→)80.5%、人手不足とした企業は(前期24.0%→)19.0%となった。

■ 経営上の問題点



■ 当面の重点経営施策

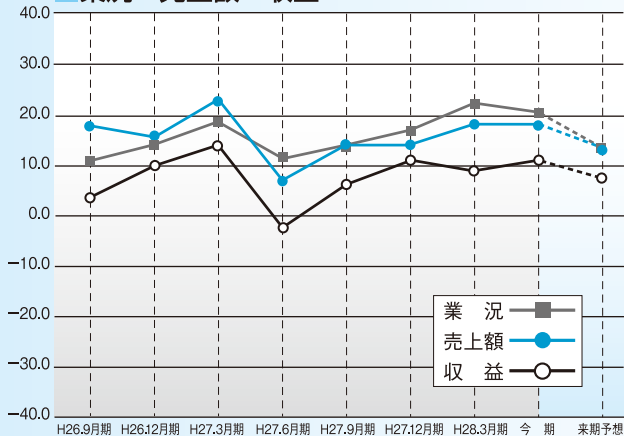


企業のコメント



- ・ 需要も多く業況は良い、売上、収益は増加しており来期も増加が見込める一方、事務所は手狭になってきた。(人材派遣業)
- ・ 業況はよい。売上、利益とも増加しており来期もこの調子を維持できる。(運送業)
- ・ 売上、収益とも増加が見られたが、人手は不足しており残業時間が増加した。(情報サービス・ソフト開発業)
- ・ 児童福祉サービスに業態転換が進み順調で、利用者も増加傾向にある。(デイサービス業)
- ・ 他業態への流出などから、利用客の減少が続いており、売上、収益は減少し業況は厳しい。(クリーニング業)
- ・ 大手の競合店との価格競争は激化しており、売上、収益をやや減少させた。(物品賃貸業)

業況・売上額・収益



建設業 DI値の推移

	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	今期	来期予想
業況	10.5	14.5	19.0	11.5	14.0	17.5	22.5	20.5	13.0
売上額	18.5	15.5	23.0	7.0	14.5	14.0	18.0	18.0	13.0
受注残	16.0	19.5	25.5	11.0	19.0	18.0	17.5	18.5	14.5
施工高	16.0	16.5	15.5	8.5	14.0	17.0	17.0	17.0	12.5
収益	3.5	10.0	14.5	-2.5	6.5	11.5	9.5	11.5	7.5
請負価格	6.5	7.0	9.5	0.5	0.0	0.5	1.0	-0.5	-0.5
原材料・仕入価格	33.0	32.5	28.5	26.0	16.0	12.0	7.5	11.0	8.5
在庫	-3.0	-1.0	0.5	-0.5	0.5	-1.0	-1.0	-0.5	0.5
資金繰り	-9.0	-7.0	-10.5	0.0	-4.5	-3.0	-0.5	1.5	1.0
従業員残業時間	11.0	9.0	10.5	4.0	5.5	10.0	11.5	6.5	3.5
従業員人手	-22.0	-23.5	-26.5	-20.5	-21.0	-25.0	-23.5	-19.0	-20.0
設備状況	-3.5	-6.0	-6.0	-3.5	-2.5	-4.0	-3.5	-5.0	-5.0

業況について

～2016年4月～6月期、業況はほぼ横ばい～

2016年4月～6月期、建設業の業況判断DIは(前期22.5→)20.5(前期比2.0ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。建設業の業況判断が20を上回ったのは2期連続で、2009年3月期の調査開始以来最も高くなった2014年3月期(25.0)を含め3回目。最多請負先別に業況判断DIを見ると、改善が見られたのは「大企業向け」(32.1)前期比8.0ポイント増加した一方、大幅に悪化は「官公庁向け」(34.3)前期比11.4ポイント減少、小幅に悪化は「中小企業向け」(12.2)前期比4.3ポイント減少となった。

来期予想は、業況判断DIは13.0となり、今期実績比7.5ポイント低下で悪化すると見通しとなった。

◎最多請負先別の業況について(当期)

	合計	官公庁	大企業	中小企業	個人
全体	200	35	56	90	19
良い～悪い	41	12	18	11	0
DI	20.5	34.3	32.1	12.2	0.0

売上額・収益・受注残の動き

～売上額、収益、受注ともに横ばい、来期はいずれも小幅悪化の見通し～

売上額判断DIは(前期18.0→)18.0(前期比増減なし)となり、横ばいとなった。収益判断DIは(前期9.5→)11.5(前期比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。受注残判断DIは(前期17.5→)18.5(前期比1.0ポイント増)となり、横ばいとなった。

来期予想は、売上額判断DIは13.0となり、今期実績比5.0ポイント低下で小幅に悪化すると見通しとなった。また収益判断DIは7.5、受注残判断DIは14.5となり、いずれも今期実績比4.0ポイント低下で小幅に悪化見通し。

請負価格・原材料価格の動き

～請負価格はほぼ横ばい、原材料は小幅悪化～

請負価格判断DIは(前期1.0→)▲0.5(前期比1.5ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。

原材料価格判断DIは(前期7.5→)11.0(前期比3.5ポイント増)となり、小幅に悪化となった。

来期予想は、請負価格判断DIは▲0.5となり、横ばいで推移すると見通しとなった。原材料価格は、8.5となり、ほぼ横ばいで推移すると見通しとなった。

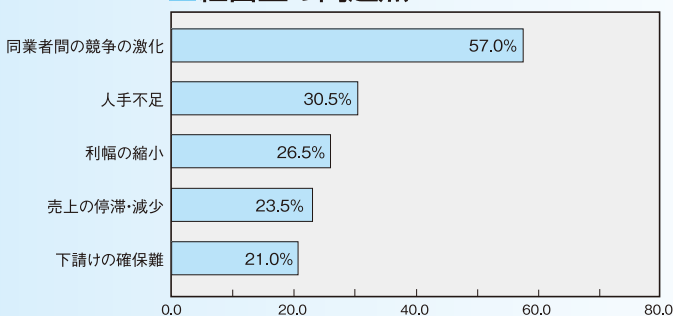
在庫・資金繰り・雇用面の動き

～在庫、資金繰りは横ばい、人手は小幅改善～

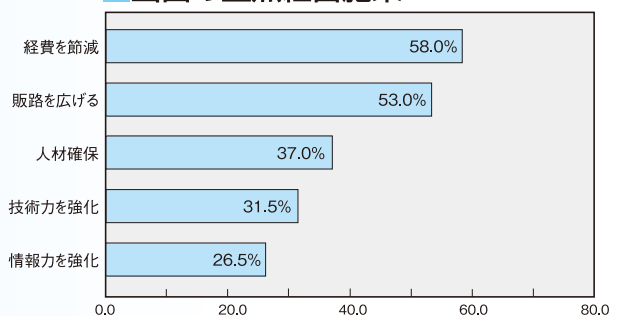
在庫判断DIは(前期▲1.0→)▲0.5(前期比0.5ポイント増)となり、横ばいとなった。資金繰り判断DIは(前期▲0.5→)1.5(前期比2.0ポイント増)となり、ほぼ横ばいとなった。人手判断DIは(前期▲23.5→)▲19.0(前期比4.5ポイント増)となり、小幅に改善となった。

来期予想は、在庫判断DIは0.5、人手判断DIは▲20.0となり、いずれも横ばいで推移の見通しとなった。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期1.5%→)1.5%、適正とした企業が(前期73.5%→)78.0%、人手不足とした企業が(前期25.0%→)20.5%となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

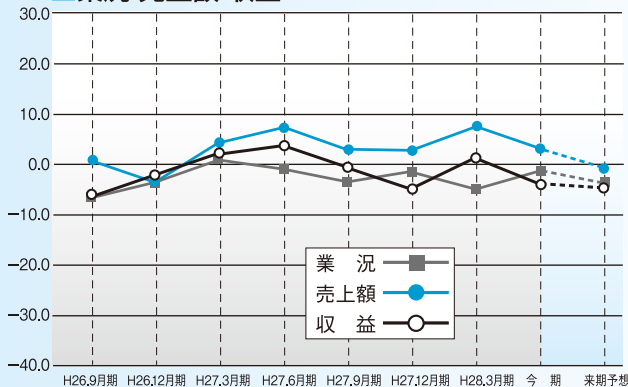


企業のコメント



- ・関東方面を中心としたインフラ老朽化対策需要が好調で、売上額、受注額、施工高は増加にした。(乾式舗装工事業)
- ・売上、受注も増加しており、業況は良い。来期も増加を見込んでいる。(土木基礎工事業)
- ・関西圏の受注は減少しているが、東京オリンピック需要で東京の受注が右肩上がり業況は良い。(塗装工事業)
- ・今期の売上はやや減少したが、官公庁を中心に今後も受注をとる。業況は回復すると見通している。(電気工事業)
- ・今期の業況は変わらず、来期は売上、受注は減少すると見ているが、今後の公共工事に期待している。(総合建設業)
- ・4～6月は売上、受注、施工高、収益とも減少となったが、年間では売上、収益は解体工事を中心に伸びている。(総合工事業)

業況・売上額・収益



不動産業 DI値の推移

	H26.9月期	H26.12月期	H27.3月期	H27.6月期	H27.9月期	H27.12月期	H28.3月期	今期	来期予想
業況	-6.1	-3.8	0.7	-0.8	-3.8	-1.6	-4.7	-1.6	-3.1
売上額	0.8	-3.8	4.6	7.6	3.1	3.0	7.6	3.8	-0.7
収益	-6.1	-2.3	1.6	4.6	-0.8	-4.7	1.5	-3.8	-4.6
販売価格	1.6	-2.3	-1.6	6.2	-2.3	0.0	4.7	0.8	-2.4
仕入価格	22.4	24.6	21.6	28.5	20.0	14.6	23.1	20.8	16.9
在庫	-14.6	-20.7	-15.3	-16.2	-20.0	-20.0	-16.2	-16.9	-21.5
資金繰り	-1.5	0.0	3.1	4.6	1.5	3.1	-3.8	-5.4	-6.2
従業員残業時間	0.8	-1.5	-3.0	-1.6	-2.3	-3.1	0.0	-2.3	-2.3
従業員人手	-3.1	-3.8	-0.7	-3.8	-3.8	-1.5	-1.5	-3.1	-2.3

業況について

～2016年4月～6月期、業況は小幅改善～

2016年4月～6月期、不動産業の業況判断DIは(前期▲4.7→)▲1.6(前期比3.1ポイント増)となり、小幅に改善となった。業種別に業況判断DIをみると、大幅に改善が見られたのは「仲介管理」(▲2.4)で前期比11.9ポイント増加となった。一方「賃貸」(5.9)で前期比5.2ポイント減少となり、悪化した。「建売」(▲2.8)前期比0.1ポイント増で横ばいだった。

来期予想は、業況判断DIが▲3.1となり、ほぼ横ばいで推移する見通しとなった。

◎業種内容別業況について(当期)

	全体	賃貸	建売	仲介管理
全体	130	17	71	42
良い～悪い	-2	1	-2	-1
DI	-1.5	5.9	-2.8	-2.4

売上額・収益の動き

～売上額は小幅悪化、収益も悪化、来期の売上額は小幅に悪化の見通し～

売上額判断DIは(前期7.6→)3.8(前期比3.8ポイント減)となり、小幅に悪化となった。収益判断DIは(前期1.5)▲3.8(前期比5.3ポイント減)となり、悪化となった。

来期予想は、売上額判断DIが▲0.7となり、今期実績比4.5ポイント低下で小幅に悪化の見通しとなった。収益判断DIは▲4.6となり、横ばいの見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は小幅悪化、来期の仕入価格は小幅に改善～

販売価格判断DIは(前期4.7→)0.8(前期比3.9ポイント減)となり、小幅に悪化となった。仕入価格判断DIは(前期23.1→)20.8(前期比2.3ポイント減)となり、ほぼ横ばいとなった。

来期予想は、販売価格判断DIは▲2.4となり、今期実績比3.2ポイント低下で小幅に悪化の見通しとなった。仕入価格判断DIは16.9となり、今期実績比3.9ポイント低下で小幅に改善の見通し。

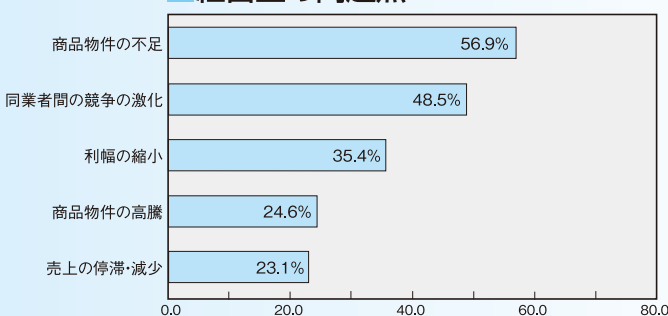
在庫・資金繰り・雇用面の動き

～在庫、資金繰り、人手ともに横ばい～

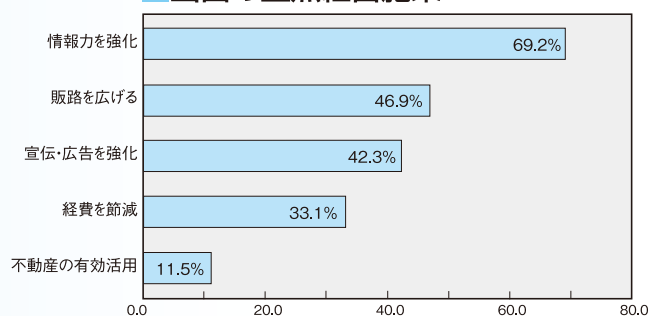
在庫判断DIは(前期▲16.2→)▲16.9(前期比0.7ポイント減)となり、横ばいとなった。資金繰り判断DIは(前期▲3.8→)▲5.4(前期比1.6ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移となった。従業員人手判断DIは(前期▲1.5→)▲3.1(前期比1.6ポイント減)となり、ほぼ横ばいで推移となった。

来期予想は、在庫判断DIは、▲21.5となり、今期実績比4.6ポイント低下で小幅に悪化する見通しとなった。資金繰り判断DIは▲6.2、従業員人手判断DIは▲2.3となり、いずれも横ばいの見通し。従業員人手判断の内訳は、人手過剰とした企業が(前期0.0%→)0.0%、適正とした企業が(前期98.5%→)96.9%、人手不足とした企業が(前期1.5%→)3.1%となった。

経営上の問題点



当面の重点経営施策



企業のコメント

- ・ 建売住宅も順調に売れ業況はやや良い、ただ仕入は物件も少なく難しい状況にある。(建売業・土地売買業)
- ・ 地元中心に積極的に活動をし、売上はやや増加となった。(建売業)
- ・ 在庫が減少傾向にあり、仕入を積極的に行いたい、物件がない。(不動産取引業)
- ・ 業況は変わらず、売上、収益に変化はない。(不動産賃貸管理業)
- ・ 外国人旅行者への宿泊施設を開始し好調に推移した。(建売業)
- ・ 仕入物件に取り合い状況が見られる。大手は入札物件ではかなり無理が見られる。(建売・土地売買業)

北おおさかしんきん景気動向特別調査として、今回は「平成28年・春の採用とベースアップ」をテーマにアンケート調査を行いました。調査期間は平成28年6月1日～6月7日。調査対象は北大阪を中心とする地元企業1,200社で、全社から有効回答を頂きました。（有効回答率100%）

平成28年春の採用について

■今春の採用状況

今春の採用状況については、採用を実施した企業は全体の14.2%。その内訳（複数回答）は「新卒（大卒）採用」した企業が3.8%、「新卒（短大・専門卒）採用」2.2%、「新卒（中・高卒）採用」2.5%となった。また、昨年秋以降の既卒者（卒3年以内）の採用は4.6%、パート採用は5.1%だった。「採用を実施しなかった」は85.8%。

平成28年春の採用状況（複数回答）

調査期	業種	構成比											
		製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業					
全体		5.2%	3.8%	2.4%	2.2%	2.3%	2.5%	6.9%	4.6%	8.0%	5.1%	79.4%	85.8%
新卒（大卒）採用を実施	平成27年6月	6.5%	6.0%	7.5%	1.3%	7.0%	3.5%	3.8%					
	平成28年6月	6.5%	4.5%	6.7%	1.3%	2.5%	3.5%	1.5%					
新卒（短大・専門卒）採用を実施	平成27年6月	3.0%	2.5%	1.7%	0.0%	5.0%	2.5%	0.8%					
	平成28年6月	2.5%	2.0%	0.8%	0.7%	3.5%	3.5%	0.8%					
新卒（中・高卒）採用を実施	平成27年6月	4.0%	3.5%	0.8%	2.0%	1.0%	3.0%	0.8%					
	平成28年6月	3.5%	4.5%	0.8%	1.3%	2.5%	3.0%	0.0%					
既卒者（卒3年以内）の中途採用実施（昨秋以降）	平成27年6月	8.0%	8.5%	6.7%	2.0%	9.0%	8.5%	3.1%					
	平成28年6月	9.0%	4.5%	4.2%	0.7%	5.0%	5.5%	0.8%					
パート社員の採用を実施	平成27年6月	9.5%	7.5%	6.7%	12.0%	13.5%	2.5%	3.1%					
	平成28年6月	6.0%	5.0%	5.8%	4.7%	9.0%	1.5%	3.1%					
採用を実施しなかった	平成27年6月	75.5%	77.5%	80.0%	84.0%	69.5%	84.0%	90.8%					
	平成28年6月	79.0%	85.5%	82.5%	93.3%	82.0%	87.0%	94.6%					

■この春の正社員の採用人数

正社員を採用した企業は全体の9.8%。その採用人数は、「5人以下」が82.1%と回答した。「6人以上～10人以下」12.8%、「11人以上～15人以上」1.9%、「16人以上」2.6%。昨年と比べ採用人数は増加している傾向が伺えた。

平成28年春の正社員採用人数

調査期	業種	構成比							
		製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	
全体		88.9%	82.1%	8.6%	12.8%	1.9%	2.6%	0.6%	2.6%
5人以下	平成27年6月	88.2%	90.3%	94.1%	87.5%	81.1%	92.6%	100.0%	
	平成28年6月	82.4%	84.2%	85.7%	100.0%	75.0%	82.6%	66.7%	
6人以上～10人以下	平成27年6月	5.9%	9.7%	5.9%	12.5%	16.2%	3.7%	0.0%	
	平成28年6月	14.7%	15.8%	14.3%	0.0%	10.0%	13.0%	0.0%	
11人以上～15人以下	平成27年6月	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	
	平成28年6月	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	33.3%	
16人以上	平成27年6月	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	
	平成28年6月	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	

■新卒者の初任給

新卒者の初任給の額は「15万円以上～17万円未満」が33.0%で最も多く、次いで「17万円以上～19万円未満」30.1%、「19万円以上～21万円未満」25.2%、「15万円未満」5.8%、「21万円以上～23万円未満」4.9%、「23万円以上」1.0%となった。

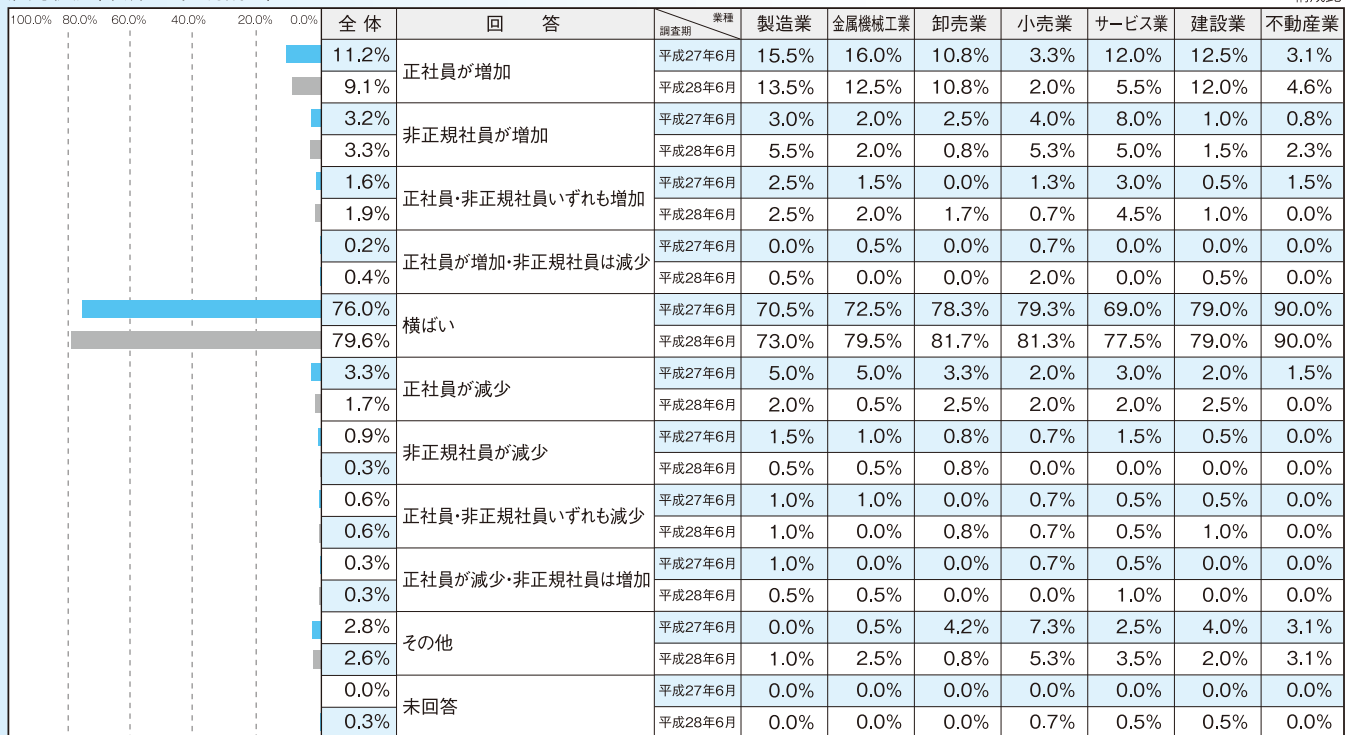
平成28年春の初任給（新卒）

調査期	業種	構成比											
		製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業					
全体		8.6%	5.8%	24.1%	33.0%	25.0%	30.1%	29.3%	25.2%	8.6%	4.9%	4.3%	1.0%
15万円未満	平成27年6月	13.0%	4.3%	16.7%	20.0%	10.3%	0.0%	0.0%					
	平成28年6月	9.7%	0.0%	7.7%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%					
15万円以上～17万円未満	平成27年6月	34.8%	30.4%	8.3%	20.0%	27.6%	11.1%	16.7%					
	平成28年6月	29.0%	35.3%	30.8%	50.0%	37.5%	31.6%	33.3%					
17万円以上～19万円未満1	平成27年6月	21.7%	30.4%	33.3%	40.0%	13.8%	33.3%	16.7%					
	平成28年6月	25.8%	41.2%	30.8%	50.0%	31.3%	21.1%	33.3%					
9万円以上～21万円未満	平成27年6月	26.1%	26.1%	25.0%	20.0%	31.0%	27.8%	66.7%					
	平成28年6月	29.0%	17.6%	30.8%	0.0%	12.5%	36.8%	33.3%					
21万円以上～23万円未満	平成27年6月	4.3%	8.7%	16.7%	0.0%	10.3%	11.1%	0.0%					
	平成28年6月	6.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%					
23万円以上	平成27年6月	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	16.7%	0.0%					
	平成28年6月	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%					

■雇用実態

前年同期と比較した雇用状況は、正社員あるいは非正規社員が「増加」したと回答した企業は14.3%だったのに対し、「減少」したは2.6%だった。「横ばい」は79.6%。

雇用状況(平成28年6月調べ)



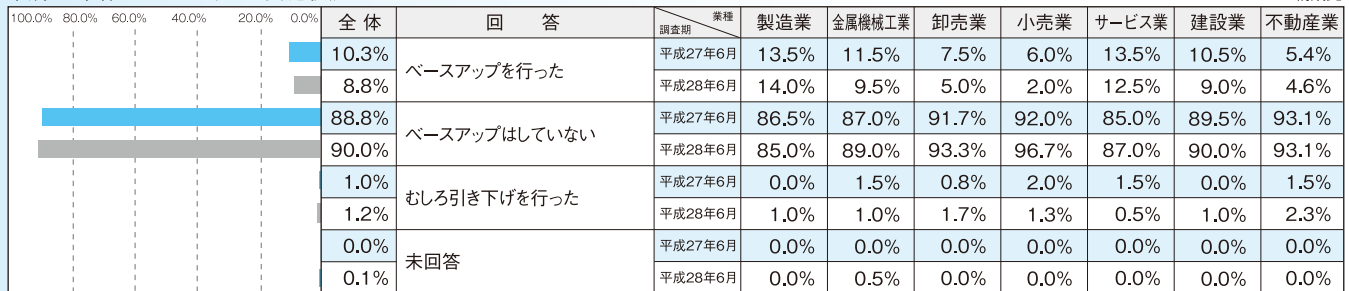
注：回答は前年同期期と比較して雇用状況を聞いています。

平成28年春のベースアップについて

■春のベースアップ実施状況

春のベースアップについては、「実施した」企業は8.8%。「実施していない」企業は90.0%で「引き下げた」企業も1.2%あった。「実施していない」理由について半数近くの企業は「定期昇給があるから」を挙げた。

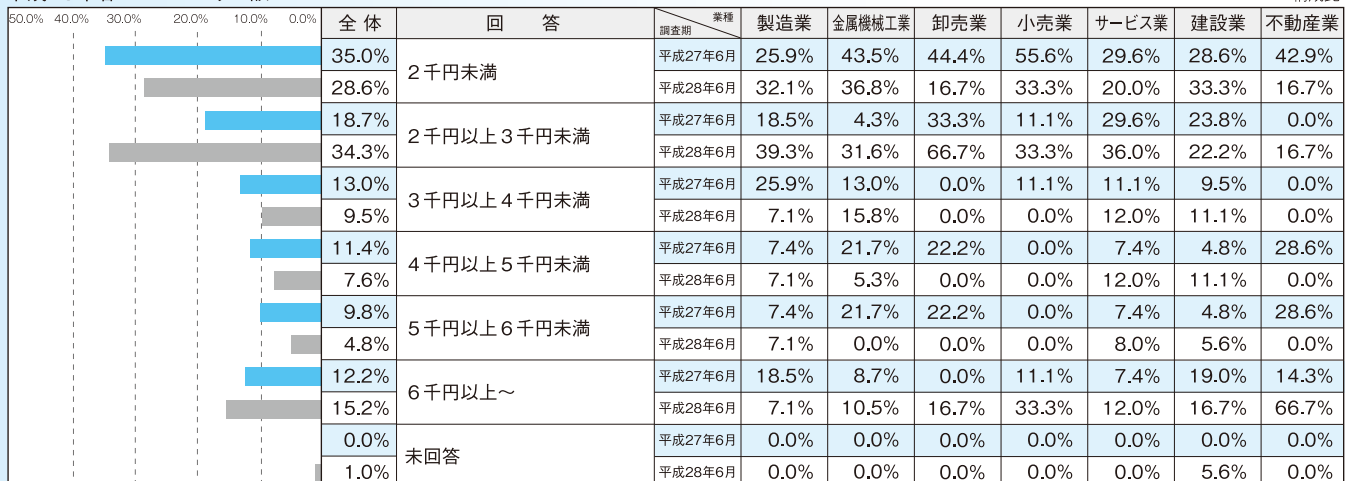
平成28年春のベースアップの実施状況



■ベースアップ額

ベースアップを実施した企業105社に具体的にその金額を聞いたところ、最も多かったのは「2千円以上～3千円未満」が34.3%、次いで「2千円未満」28.6%、以下「6千円以上」15.2%、「3千円～4千円未満」9.5%、「4千円～5千円未満」7.6%、「5千円以上～6千円未満」4.8%の順となった。

平成28年春のベースアップ額



■ベースアップを「行った」理由

ベースアップを実施した理由(複数回答)で、最も多かったのは「労働力の定着・確保」が42.9%。次いで「売上・利益の増加」、「労働力の質の向上のため」がいずれも34.3%と上位となった。一方少なかったのは「同業他社の賃金の動向」9.5%、「業績の改善」6.7%、「物価の動向をみて」1.0%となった。

平成28年春のベースアップを行った理由(複数回答)

		構成比							
全体	回答	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	
42.9%	労働力の定着・確保	32.1%	47.4%	66.7%	0.0%	44.0%	55.6%	33.3%	
34.3%	売上・利益の増加	35.7%	42.1%	83.3%	0.0%	20.0%	33.3%	33.3%	
34.3%	労働力の質の向上のため	42.9%	47.4%	33.3%	33.3%	12.0%	38.9%	33.3%	
26.7%	将来への期待	25.0%	36.8%	0.0%	0.0%	32.0%	33.3%	0.0%	
21.0%	ほぼ毎年実施	25.0%	5.3%	16.7%	66.7%	32.0%	16.7%	0.0%	
9.5%	同業他社の賃金動向	7.1%	10.5%	0.0%	0.0%	12.0%	11.1%	16.7%	
6.7%	業績の改善	7.1%	5.3%	0.0%	0.0%	12.0%	0.0%	16.7%	
1.0%	物価の動向をみて	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	
0.0%	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

■ベースアップを「行わなかった」理由

ベースアップを実施しなかった(引き下げた企業を含む)1094社に、その理由を具体的に聞いた(複数回答)ところ、最も多かったのは「定期昇給があるから」45.0%。次いで「賞与で検討する」が19.7%、「業績が改善しないため」18.8%、「受注・売上の減少」や「利益の減少」がいずれも18.7%となった。一方で「設備等、他を優先する」4.3%、「人員を増やす」3.6%、「原材料・仕入価格の上昇によるコスト増」2.7%、「年俸制のため」0.5%と少なかった。また昨年35.9%と最も多かった「景気の先行きに不安」は今回9.0%まで大きく低下した。

平成28年春のベースアップを行わなかった理由(複数回答)

		構成比							
全体	回答	調査期	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
10.5%	定期昇給があるから	平成27年6月	12.6%	10.2%	12.6%	9.2%	11.6%	8.9%	8.1%
45.0%		平成28年6月	50.0%	51.1%	50.9%	44.5%	37.1%	43.2%	37.9%
17.9%	賞与で検討する	平成27年6月	22.4%	23.3%	25.2%	2.8%	13.9%	20.7%	16.3%
19.7%		平成28年6月	23.3%	25.0%	20.2%	8.2%	12.0%	27.3%	19.4%
18.5%	業績が改善しないため	平成27年6月	21.3%	20.5%	13.5%	26.2%	19.7%	13.4%	13.0%
18.8%		平成28年6月	17.4%	18.3%	16.7%	25.3%	22.3%	16.9%	13.7%
19.2%	受注・売上の減少	平成27年6月	16.7%	20.5%	17.1%	32.6%	17.3%	16.2%	14.6%
18.7%		平成28年6月	16.9%	19.4%	19.3%	24.7%	21.7%	15.3%	13.7%
18.9%	利益の減少	平成27年6月	23.0%	17.0%	14.4%	25.5%	19.7%	15.6%	16.3%
18.7%		平成28年6月	16.9%	19.4%	19.3%	24.7%	21.7%	15.3%	13.7%
7.7%	内部留保を高めるため	平成27年6月	7.5%	7.4%	8.1%	2.8%	6.9%	12.8%	7.3%
10.7%		平成28年6月	11.0%	7.8%	10.5%	8.2%	11.4%	13.7%	12.1%
35.9%	景気の先行きに不安	平成27年6月	39.1%	38.1%	43.2%	37.6%	32.9%	33.5%	27.6%
9.0%		平成28年6月	9.3%	11.7%	14.0%	4.1%	6.3%	9.8%	8.1%
1.0%	過去2年以内に行ったから	平成27年6月	0.6%	0.6%	0.0%	0.7%	1.7%	1.7%	1.6%
9.0%		平成28年6月	9.3%	11.7%	14.0%	4.1%	6.3%	9.8%	8.2%
10.2%	その他	平成27年6月	6.9%	8.0%	5.4%	14.9%	12.1%	9.5%	15.4%
6.2%		平成28年6月	3.5%	3.9%	7.9%	7.5%	6.9%	5.5%	10.5%
2.7%	設備等、他を優先するため	平成27年6月	4.6%	5.1%	0.9%	0.0%	2.9%	2.2%	1.6%
4.3%		平成28年6月	2.9%	7.8%	1.8%	3.4%	6.3%	3.8%	2.4%
4.0%	人員を増やしたため	平成27年6月	5.2%	5.1%	1.8%	0.7%	7.5%	4.5%	0.8%
3.6%		平成28年6月	4.7%	3.3%	2.6%	4.8%	5.1%	2.7%	0.8%
6.6%	原材料・仕入価格の上昇によるコスト増	平成27年6月	6.9%	6.3%	5.4%	7.8%	4.0%	9.5%	5.7%
2.7%		平成28年6月	2.9%	1.1%	2.6%	3.4%	2.9%	2.7%	3.2%
2.2%	残業時間等の増加によるコスト	平成27年6月	2.9%	2.8%	0.9%	0.7%	2.9%	3.4%	0.8%
2.4%		平成28年6月	5.2%	2.2%	0.9%	2.7%	1.1%	2.2%	1.6%
1.5%	増年俸制のため	平成27年6月	1.1%	1.1%	0.0%	2.1%	0.6%	0.6%	5.7%
0.5%		平成28年6月	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.6%	0.0%	2.4%
3.2%	未回答	平成27年6月	3.4%	3.4%	5.4%	2.8%	1.7%	3.4%	3.3%
0.5%		平成28年6月	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%

地域密着を信条とした78か店のネットワーク

店舗のご案内

北おおさか信用金庫 店舗配置図



※地図はイメージです。

店外 ATM

- | | | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ 吹田市水道部出張所 ◆ 吹田市役所出張所 ◆ JR 吹田駅前さんくす出張所 ◆ イズミヤ千里丘店出張所 ◆ メロード吹田出張所 ◆ イオン南千里店出張所 ◆ フレンドマート岸辺出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 千里丘駅出張所 ◆ イオン高槻店出張所 ◆ セントラルマーケット出張所 ◆ ダイエー摂津富田出張所 ◆ フレンドマート高槻美しが丘店出張所 ◆ チャオパルコ芥川出張所 ◆ 阪急オアシス高槻川西店出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ フレンドマート高槻川添店出張所 ◆ ジョーシン高槻大塚店出張所 ◆ 関西スーパー西冠店出張所 ◆ サボイ出張所 ◆ マルヤス宮田店出張所 ◆ コープ島本出張所 ◆ イオン茨木ショッピングセンター出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ コープ茨木白川出張所 ◆ イオン新茨木店出張所 ◆ 豊中市役所出張所 ◆ チャオパルコ豊中出張所 ◆ 小曾根出張所 ◆ イオンタウン豊中緑丘SC出張所 ◆ イオン箕面出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 関西スーパー瑞光店出張所 ◆ 三国商店街出張所 ◆ 神崎川駅前出張所 ◆ イオン高見店出張所 ◆ 毛馬出張所 ◆ イオン大日SC出張所 ◆ ホームス葦屋川出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 菅原出張所(旧菅原支店) ◆ 宮原出張所(旧東淀川支店) ◆ 千里丘西出張所(旧千里丘支店) ◆ 大池出張所(旧大池支店) ◆ 立命館大学 大阪いばらきキャンパス出張所 ◆ 庄内栄町出張所 ◆ ららぽーとEXPOCITY店出張所 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

◆ご相談プラザ チャオパルコ豊中

営業地域(地区別) 大阪府: 大阪市、茨木市、高槻市、吹田市、豊中市、箕面市、池田市、守口市、門真市、摂津市、寝屋川市、大東市、東大阪市、枚方市、八尾市、交野市、四条畷市、堺市、松原市、三島郡、豊能郡
 兵庫県: 尼崎市、伊丹市、川西市、西宮市、宝塚市、川辺郡
 京都府: 向日市、長岡京市、乙訓郡大山崎町

発行日 平成28年7月29日
 発行 北おおさか信用金庫 総合企画部
 住所 〒567-8651 茨木市西駅前町9-32
 電話 072-623-4981(代)
 ホームページ <http://www.kitaosaka-shinkin.co.jp/>
 編集 株式会社 大阪彩都総合研究所

